

令和7年度

3 学年 社会科 年間指導計画・評価計画（第1版）

担当〔名取 エリカ〕

教科の目標	指導・評価の重点および工夫点			
	知識・技能の定着	思考力・判断力・表現力の育成	学習意欲の向上	学習評価の生徒へのフィードバック
広い視野に立って、社会に対する関心を高め、諸資料に基づいて多面的・多角的に考察し、我が国の国土と歴史に対する理解と愛情を深め、公民としての基礎的教養を培い、国際社会に生きる平和で民主的な国家・社会の形成者として必要な公民的資質の基礎を養う。	・知識に結びつく用語等をわかりやすく提示し、覚える内容を基礎・基本となる最小限の内容に抑える。 ・社会科の3技能「情報を収集する、情報を読み取る、情報をまとめる」を単元や各授業で効果的に定着や活用場面を設定する。	・単元を見通した問いを追究させる学習過程を設定し、学んだことを整理し、関連づけ、まとめる等のアウトプットする学習場面をつくる。 ・各授業の振り返りをタブレット等を用いて実施し、1時間の授業で学んだ内容をまとめる等のアウトプットする学習場面を設定する。	・単元を見通した問いに対する各自の予想である「見通し」を設定させ、本時での学びが課題追究となる学習場面を設定する。 ・生徒の疑問や知りたいことをできる限り授業に反映して、授業を構築する。	・ワークシートやクラスルームを活用し、生徒の学習状況を把握し、助言や指導を実施するなど、学習改善につながる評価をできる限りこまめに行う。 ・記録に残す評価については、評価基準を生徒と共有した上で、（全員B基準以上を前提として）生徒自身が目指す目標を設定できるようにする。

◎単元（1～数十時間の学習内容のまとめ）は、学習進度および生徒の実態、その他の要因によって変更となる場合があります。その場合は各担当から生徒へ説明を行います。

月	単元・教材	ICTとの関わり	時数	学習指導および観点別学習状況の評価の観点等		
				知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
4	第5章4節 激動する東アジアと日清・日露戦争 教材 教科書、資料集等	タブレット	6	単元を見通した問い（仮）『日清・日露戦争はなぜ起こり、日本や世界にどのような影響を与えたのだろうか。』 ○日清・日露戦争での勝利や不平等条約の改正などをもとに、日本の国際的な地位が向上したことを理解しているとともに、諸資料から歴史に関するさまざまな情報を効果的に調べ、まとめている。		
5	第5章5節 近代の産業と文化の発展 教材 教科書、資料集等	タブレット	3	単元を見通した問い（仮）『なぜ、近代化によって人々の生活が大きく変化したのだろうか。』 ○日本の産業革命と国民生活の変化、学問・教育・科学・芸術の発展などをもとに、日本で近代産業が発達し、近代文化が形成されたことを理解しているとともに、諸資料から歴史に関するさまざまな情報を効果的に調べ、まとめている。		
	第6章1節 第一次世界大戦と民族独立の動き 教材 教科書、資料集等	タブレット	6	単元を見通した問い（仮）『第一次世界大戦は、世界にどのような変化をもたらしたのだろうか。』 ○第一次世界大戦が起こった背景とその影響、民族運動の高まりと国際協調の動きなどをもとに、第一次世界大戦前後の国際情勢及び日本の動きと、大戦後に国際平和への努力がなされたことを理解してい		

				るとともに、諸資料から歴史に関するさまざまな情報を効果的に調べ、まとめている。		ている。
6	第6章2節 大正デモクラシー 第6章3節 恐慌から戦争へ 教材 教科書、資料集等	タブレット	7	単元を見通した問い(仮)『第一次世界大戦の前後、日本の政治・社会・文化には、どのような変化があったのだろうか。』 ○第一次世界大戦前後の日本の国民の政治的自覚の高まりと文化の大衆化などをもとに、大正デモクラシーの時期の政治や社会の動きを理解しているとともに、諸資料から歴史に関するさまざまな情報を効果的に調べ、まとめている。 ○第一世界大戦後の世界の動きと日本との関係に着目して、大衆の出現と政治や社会の変化について、自称を相互に関連付けるなどして、多面的・多角的に考察し、表現している。 ○第一次世界大戦前後の国際情勢と大衆の出現について、章の問いと関連付けながら「なぜ、自由で民主主義的な考え方が広まったのだろうか」という説の問いを主体的に追求しようとしている。 単元を見通した問い(仮)『世界的な経済の変化は、各国の政治や国際関係にどのような影響を与えたのだろうか。』 ○世界恐慌による経済の世界的な混乱と社会問題の発生、昭和初期から第二次世界大戦までの日本の政治・外交の動き、中国などアジア諸国との関係、欧米の動きなどをもとに、軍部の台頭から第二次世界大戦に至るまでの経過を理解するとともに、諸資料から歴史に関するさまざまな情報を効果的に調べ、まとめている。 ○戦争に向かう時期の社会や生活の変化などに着目して、第二次世界大戦が起こった理由について、自称を相互に関連付けるなどして、多面的・多角的に考察し、表現している。 ○昭和初期から第二次世界大戦までの世界と日本の政治・外交の動きについて、章の問いと関連付けながら「なぜ、世界や日本では、ファシズムや軍国主義の風潮が強まっていったのだろうか」という節の問いを主体的に追求しようとしている。		
9	第6章4節 第二次世界大戦と日本の敗戦 教材 教科書、資料集等	タブレット	5	単元を見通した問い(仮)『なぜ世界や日本は、二度目の世界大戦を起こしてしまったのだろうか。』 ○第二次世界大戦中の日本の政治・外交の動き、中国などアジア諸国との関係、戦時下の国民の生活などをもとに、大戦が人類全体に惨禍を及ぼしたことを理解しているとともに、諸資料から歴史に関するさまざまな情報を効果的に調べ、まとめている。 ○第二次世界大戦の始まりから終結までの世界の動きと日本との関連などに着目して、第二次世界大戦の惨禍について自傷を相互に関連付けるなどして、多面的・多角的に考察し、表現している。 ○第二次世界大戦と人類への惨禍について、章の問いと関連付けながら「なぜ世界や日本は、二度目の世界大戦を起こしてしまったのだろうか」という説の問いを主体的に追求しようとしている。		
10	第7章1節 日本の民主化と冷戦 第7章2節 世界の多極化と日本 教材 教科書、資料集等	タブレット	10	単元を見通した問い(仮)『戦後の日本は、どのような国を目ざし、国際社会に復帰したのだろうか。』 ○冷戦、日本の民主化と再建などをもとに、第二次世界大戦後の諸改革の特色や世界の動きの中で新しい日本の建設が進められたことを理解しているとともに、諸資料から歴史に関するさまざまな情報を効果的に調べ、まとめている。 ○戦後の諸改革の展開と国際社会の変化に着目し、民主化が日本の社会に及ぼした変化や、冷戦に伴う東アジアの変化と日本の関わりについて、自称を相互に関連付けるなどして、多面的・多角的に考察し、表現している。 ○日本の民主化と冷戦下の国際社会について、章の問いと関連付けながら「第二次世界大戦後、日本は独立の回復に向けて、どのような取り組みを行ってきたのだろうか」という説の問いを主体的に追求しようとしている。 単元を見通した問い(仮)『国際社会に復帰した日本は、どのような役割を担うようになったのだろうか。』		

1	1	第7章3節 冷戦の終結とこれからの日本 教材 教科書、資料集等	タブレット	5	単元を見通した問い(仮)『現代社会の諸課題の解決に向けて、私たちはどのように取り組んでいけばよいだろうか。』 ○冷戦の終結、グローバル化する世界などをもとに、激変する国際社会において日本の役割が大きくなってきたことを理解しているとともに、諸資料から歴史に関するさまざまな情報を効果的に調べ、まとめている。 ○冷戦終結後の国際社会の変化などに着目して、グローバル化の進展とその影響について、自称を相互に関連付けるなどして、多面的・多角的に考察、構想し、表現している。 ○グローバル化する社会について、章の問いと関連付けながら、「現代社会の諸課題の解決に向けて、私たちはどのように取り組んでいけばよいだろうか」という説の問いを主体的に追求、解決しようとしている。
1	2	第4章1節 消費生活と市場経済 第4章2節 生産と労働 教材 教科書、資料集等	タブレット	7	単元を見通した問い(仮)『消費活動で、なぜ消費者の自立が求められているのでしょうか。』 ○身近な消費生活を中心に経済活動の意義について理解している。 ○対立と合意、効率と公正、分業と交換、希少性などに着目して、個人や企業の経済活動における役割と責任について多面的・多角的に考察し、表現している。 ○市場の働きと経済について、現代社会に見られる課題の解決を視野に主体的に社会に関わろうとしている。
1	1	第4章2節 生産と労働 第4章3節 市場経済の仕組みと金融 教材 教科書、資料集等	タブレット	8	単元を見通した問い(仮)『生産活動では、なぜ労働者の権利を保障することが重要なのでしょうか。』 ○勤労の権利と義務、労働組合の意義及び労働基準法の精神について理解している。 ○対立と合意、効率と公正、分業と交換、希少性などに着目して、社会生活における職業の意義と役割及び雇用と労働条件の改善について多面的・多角的に考察し、表現している。 ○市場の働きと経済について、現代社会に見られる課題の解決を視野に主体的に社会に関わろうとしている。 単元を見通した問い(仮)『金融の働きは、なぜ私たちの生活にとって重要なのでしょうか。』 ○市場経済の基本的な考え方について理解している。その際、市場における価格の決め方や資源の配分について理解している。 ○現代の生産や金融などの仕組みや働きを理解している。 ○対立と合意、効率と公正、分業と交換、希少性などに着目して、個人や企業の経済活動における役割と責任について多面的・多角的に考察し、表現している。 ○市場の働きと経済について、現代社会に見られる課題の解決を視野に主体的に社会に関わろうとしている。
2	2	第4章4節 財政と国民の福祉 第4章5節 これからの経済と社会 教材 教科書、資料集等	タブレット	8	単元を見通した問い(仮)『国民の福祉にとって、なぜ財政が重要なのでしょうか。』 ○社会資本の整備、少子高齢社会における社会保障の充実・安定化、消費者の保護について、それらの意義を理解している。 ○財政及び租税の意義、国民の納税の義務について理解している。 ○対立と合意、効率と公正、分業と交換、希少性などに着目して、市場の働きに委ねることが難しい諸問題に関して、国や地方公共団体が果たす役割について多面的・多角的に考察、構想し、表現している。 ○国民の生活と政府の役割について、現代社会に見られる課題の解決を視野に主体的に社会に関わろうとしている。

				単元を見通した問い(仮)『経済は、私たちに何をもたらしているのでしょうか。』		
				○社会資本の整備, 少子高齢社会における社会保障の充実・安定化, 消費者の保護について, それらの意義を理解している。 ○財政及び租税の意義, 国民の納税の義務について理解している。	○対立と合意, 効率と公正, 分業と交換, 希少性などに着目して, 市場の働きに委ねることが難しい諸問題に関して, 国や地方公共団体が果たす役割について多面的・多角的に考察, 構想し, 表現している。	○国民の生活と政府の役割について, 現代社会に見られる課題の解決を視野に主体的に社会に関わろうとしている。 ○単元を見通した問いに対する見通しをもち, その振り返りを行いながら, 粘り強く取り組みようとしている。
3	○卒業論文作成	タブレット	5	単元を見通した問い(仮)『よりよい社会の形成のために、私が、日本が、世界が解決すべき課題への取り組みを提案しよう。』		
					○社会的な見方・考え方を働かせ, 私たちがよりよい社会を築いていくために解決すべき課題を多面的・多角的に考察, 構想し, 自分の考え方説明, 論述している。	○私たちがよりよい社会を築いていくために解決すべき課題の解決を視野に主体的に社会に関わろうとしている。
評価材および評価方法				【学習改善につながる評価】授業観察および机間指導、ワークシートの記述へのコメント 【記録に残す評価】ワークシート、定期考査の達成状況	【学習改善につながる評価】授業観察および机間指導、ワークシートの記述へのコメント 【記録に残す評価】ワークシート、定期考査の達成状況	【学習改善につながる評価】授業観察、ワークシートの記述へのコメント 【記録に残す評価】ワークシートの達成状況